

りんご黒星病の発生が多い ～園内をよく観察し薬剤防除を徹底してください～

1. 病害虫名：黒星病
2. 発生作物：りんご
3. 発生地域：全県
4. 発生時期：－
5. 発生量：多い

6. 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）

6月中旬の巡回調査におけるふじの発病果そう率は3.6%（平年0.7%）、発生地点率は13.6%（平年8.2%）でいずれも高く（図-1）、指導機関への診断依頼や相談が急増している。

6月下旬には県北部と県南部の園地から採集したりんご黒星病菌にDMI剤耐性菌と同様の遺伝子変異が認められた。

6月下旬は降水量が多かったことから感染量は多かったと推定される。

7月5日に仙台管区気象台発表の東北地方1か月予報によると、向こう1か月の降水量は平年並か多いと予報されている。

以上のことから、今後の発生量が増加すると予想されるため、防除対策を徹底する必要がある。

7. 防除対策

（1）耕種的防除

- ・園内や園地周辺の葉、果実等をよく観察し発生の有無を確認する。
- ・葉では、最初淡緑色の小斑点として現れ（図-2）、その後不規則に病斑を拡大し、黒緑色になり胞子を多数形成してすす状を呈する（図-3）。時間が経つとこぶ状に盛り上がるものもある（図-4）。葉の表面に発病するケースが多いが、裏面にのみ発病する場合もあるため（図-5）注意深く観察する。
- ・果実では、最初黒緑色の小斑点として現れ、拡大して黒褐色のカサブタ状になり（図-6）、果実肥大に伴って奇形や裂果となる。
- ・発病葉や発病果実は袋等に集め、土中深くに埋めるか焼却する。
- ・薬液が樹全体によくかかるようにするため、枝の配置を見直し、不要な徒長枝は整理する。

（2）薬剤防除

- ・本病は夏期の高温により病勢の拡大が一時停滞するものの、降雨により感染は繰り返される。果実は秋に感染すると収穫期までに発病せず貯蔵中に発病する場合もあるので、園内の菌密度が高まらないよう防除を徹底する。
- ・防除薬剤は表-1から選択するが、果実腐敗性病害等に対する効果が異なるので注意する。
- ・7月2日現在、りんごの生育は平年並であるが、今後の気象によっては早生種等の収穫期が早まる可能性もあるため、薬剤の使用時期に注意する。
- ・発生園では10日間隔で防除を行い、雨前散布に努める。
- ・夏期の散布量は500L/10a以上（700L/10aまで）を目安とする。

8. 資料

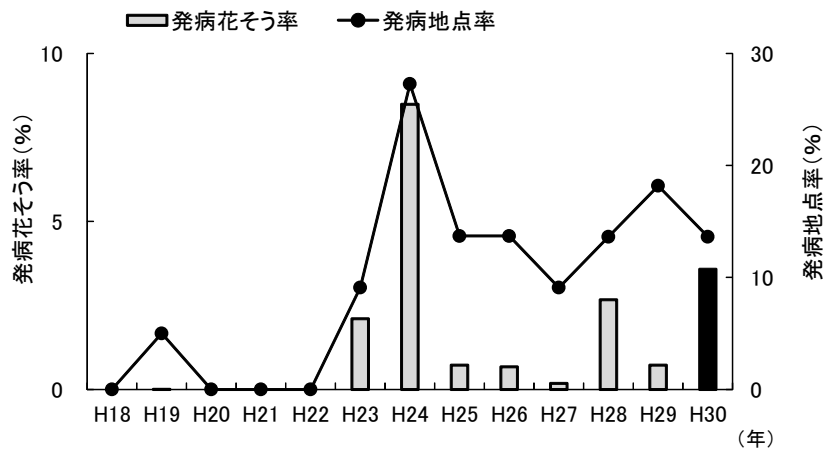


図-1 6月中旬の巡回調査における発生推移



図-2 葉の病斑（発病初期）



図-3 葉の発病状況（病斑が拡大しすす状を呈する）



図-4 葉の発病状況
(古くなると病斑が盛り上がる)



図-5 葉裏の発病状況



図-6 幼果の発病状況

表-1 りんご黒星病の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
E	パスポート顆粒水和剤	1,000倍	収-45日	3回以内	ア
D・O	ダイパワー水和剤	1,000倍	収-前日	* a	イ、ウ
W	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	開花から収-前日	* b	エ
O	ベフラン液剤25	1,500倍	収-前日	* a	ウ
B	ジマンダイセン水和剤	600倍	収-30日	3回以内	オ
B	チオノックフロアブル	500倍	収-30日	5回以内	カ
B	トレノックスフロアブル	500倍	収-30日	5回以内	カ
D	オーソサイド水和剤80	800倍	収-前日	6回以内	イ
J・S	ナリアWDG	2,000倍	収-前日	3回以内	キ、ク
D・F	アリエッティC水和剤	800倍	収-前日	3回以内	イ、ケ
A・D	オキシラン水和剤	600倍	収-14日	4回以内	イ、コ

分類 A:銅剤 B:有機硫黄剤 D:ポリハロアルキルチオ剤 E:有機塩素剤 F:有機リン系剤 J:SDHI剤
O:グアニジン系剤 S:QoI剤 W:その他

使用回数 *a 6回以内(但し、開花期以降散布は3回以内)

*b 5回以内(開花前まで2回以内、開花から収穫前日まで3回以内)

各成分の総使用回数

ア:TPN(3回以内) イ:キャプタン(6回以内)

ウ:イミノクタジン(8回以内(液剤及び水和剤は合計6回以内(開花期以降は3回以内)、塗布剤は2回以内)

エ:フルオルイミド(5回以内(開花前は2回以内、開花後は3回以内)) オ:マンゼブ(3回以内)

カ:チウラム(5回以内) キ:ピラクロストロビン(3回以内) ク:ポスカリド(3回以内) ケ:ホセチル(3回以内)

コ:有機銅(7回以内(塗布は3回以内、散布は4回以内))

(注意事項) QoI剤(分類 S)は耐性菌出現を回避するため、年2回の使用にとどめる。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県果樹試験場 TEL 0182-25-4224

かづの果樹センター TEL 0186-25-3231

掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>